

県営水道の送水管の有効落差約15mによって生じた水圧を利用し、送水管内に水車を設置して発電を行っています。発電した電力の20%を水道施設で使用して、余剰となる80%を電力会社に売電しています。売電分を除いた自己消費分のエネルギーについては、化石燃料などから発電した電力会社の供給電力に代わり、これまで利用されていなかった水力エネルギーを有効活用することで、温室効果ガスの排出が削減されます。

プロジェクトの実施場所	岐阜県瑞浪市
削減量(予測)	年間 50t-CO2
在庫量	176t-CO2(H24年6月時点)
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	¥5,000

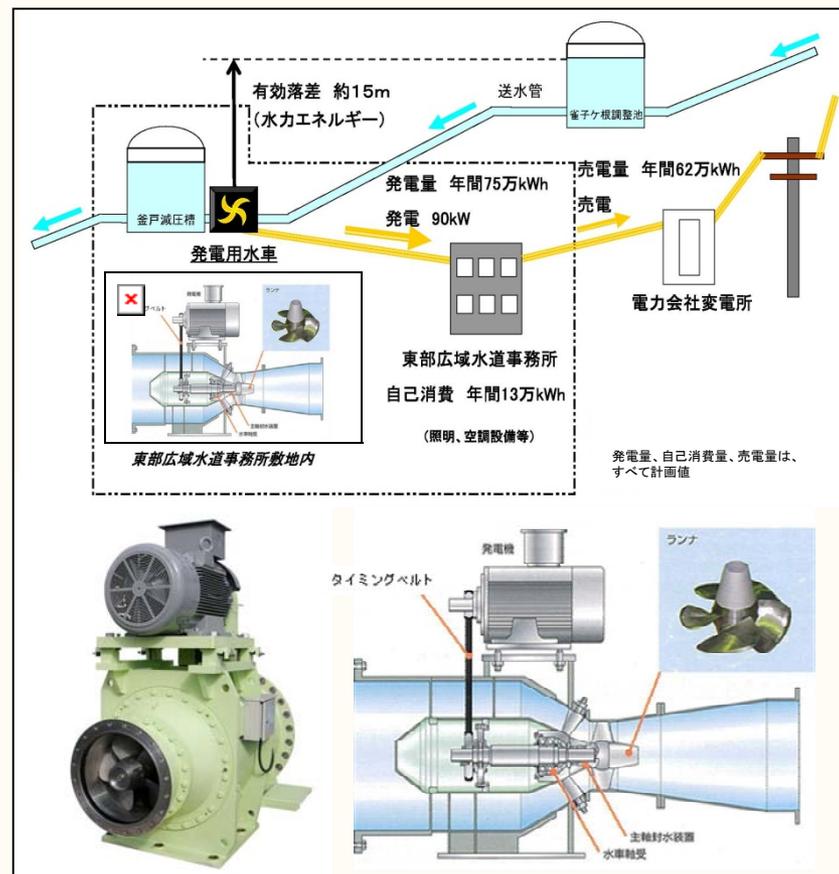
「小水力発電」の水資源量が全国1位である岐阜県においてプロジェクトを実施することによって、清流から生まれる環境価値を創造する活動を推進し、水道事業体に限らず自治体などによる小水力発電の導入が期待されます。

また、清流の恵みから創出されたクレジットであるため、企業イメージの向上に役立ちます。



みずっち

水道水は飲むだけでなく、電気も作ることができるよ。



■担当者連絡先

岐阜県都市建築部水道企業課

TEL: 058-272-8709

Email: c11664@pref.gifu.lg.jp

担当: 寄国